



# 2009年3月期 決算説明会

---

決算総括および中期経営計画

代表取締役社長 家次 恒

2009年5月12日

# 内容

---

- ◆ 2009年3月期 決算総括
- ◆ 中期経営計画(2010年3月期～2012年3月期)
- ◆ 2010年3月期業績予想
- ◆ 補足資料
  - － 中期経営目標

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

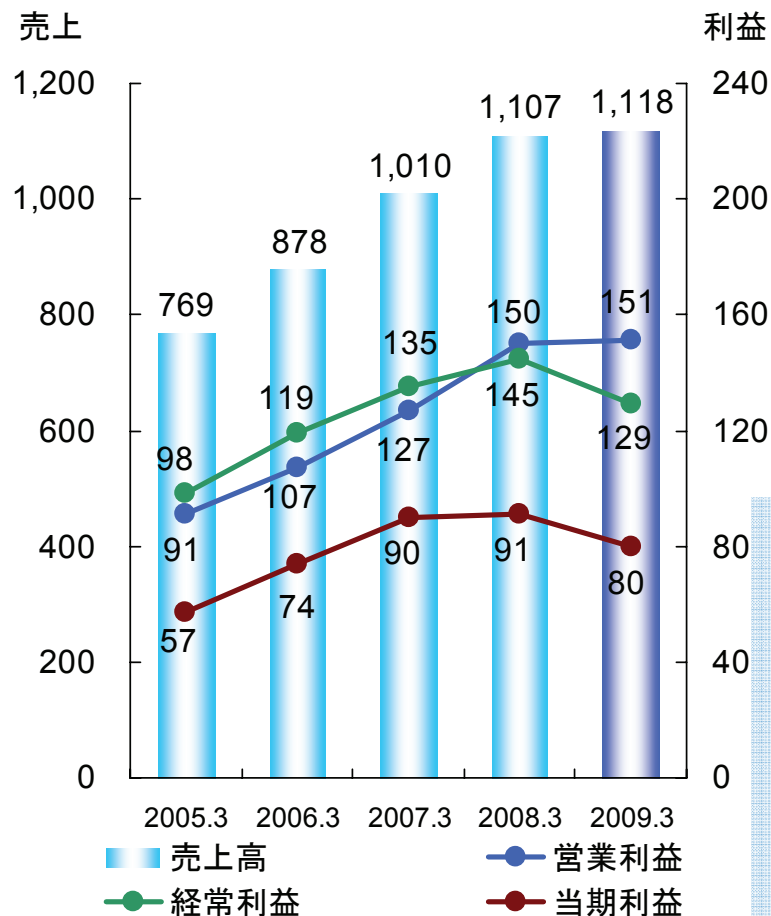
## 2009年3月期 決算総括

---

# 決算総括



(単位: 億円)



前期4Q為替レート: 1US\$=105.3円、1EUR=157.7円

当期4Q為替レート: 1US\$= 93.6円、1EUR=121.9円

前期累計為替レート: 1US\$=114.3円、1EUR=161.5円

当期累計為替レート: 1US\$=100.5円、1EUR=143.5円

(単位: 億円)

|       | 2009年3月期 | 公表<br>(2/3修正) | 08年3月期  | 前年同期比   |
|-------|----------|---------------|---------|---------|
| 売上高   | 1,118.4  | 1,140         | 1,107.2 | 101.0 % |
| 営業利益  | 151.3    | 140           | 150.3   | 100.7 % |
| 経常利益  | 129.8    | 115           | 145.4   | 89.3 %  |
| 当期純利益 | 80.1     | 67            | 91.3    | 87.8 %  |

## ● 円高の影響を受けつつも利益面では目標達成(営業利益: 過去最高)

- ▶ 検体検査業界において景気減速の影響は軽微
- ▶ 海外地域がグループ全体の成長を牽引(海外比率 68%)
- ▶ 円高の影響: 売上高 △96.7億円、営業利益 △27.1億円

※ 営業外損益における為替差損: 22.2億円

※ 前年同期の為替レートを適用した場合

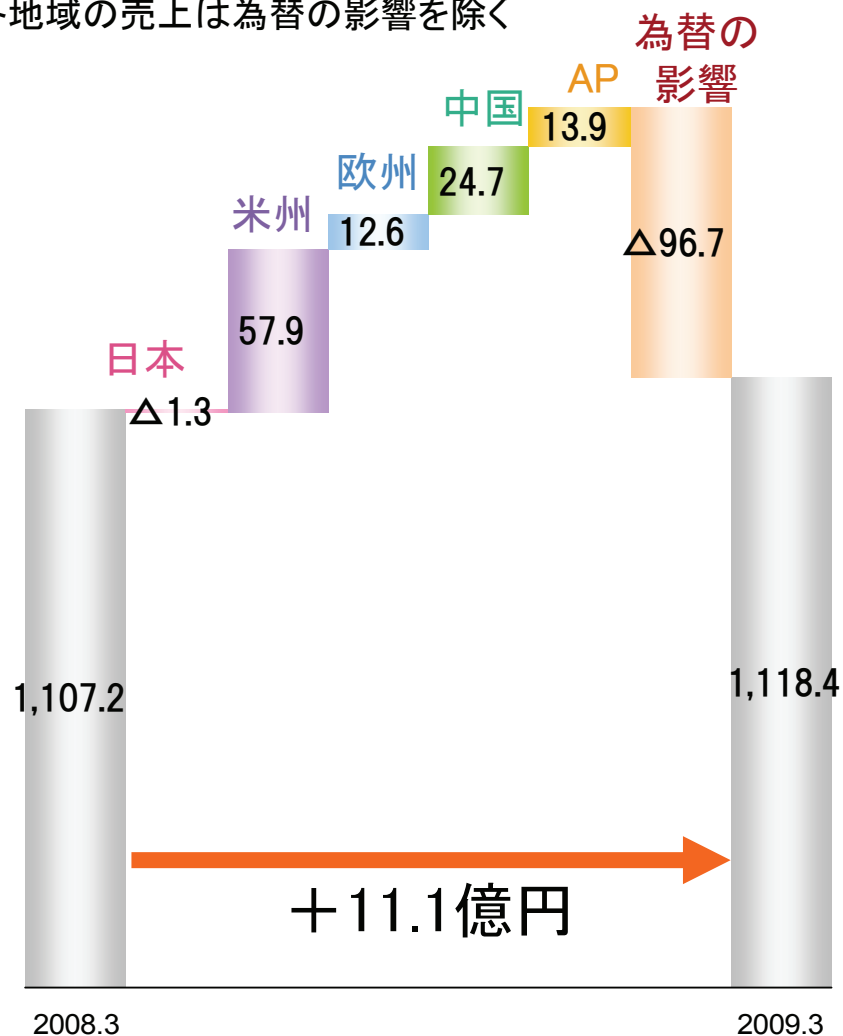
前年同期比 売上高 109.7%、営業利益 118.7%

# 売上高・営業利益の増減要因

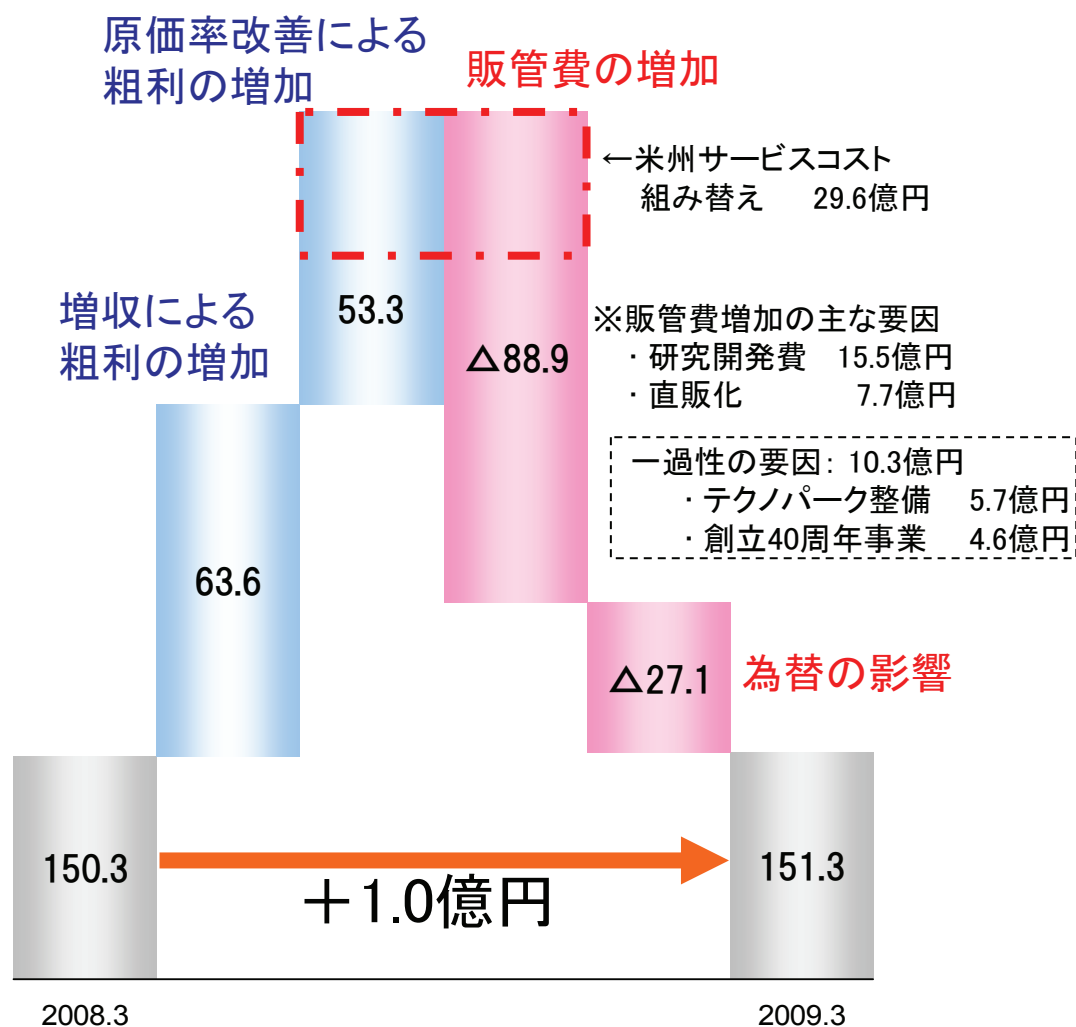
(単位: 億円)

## 売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



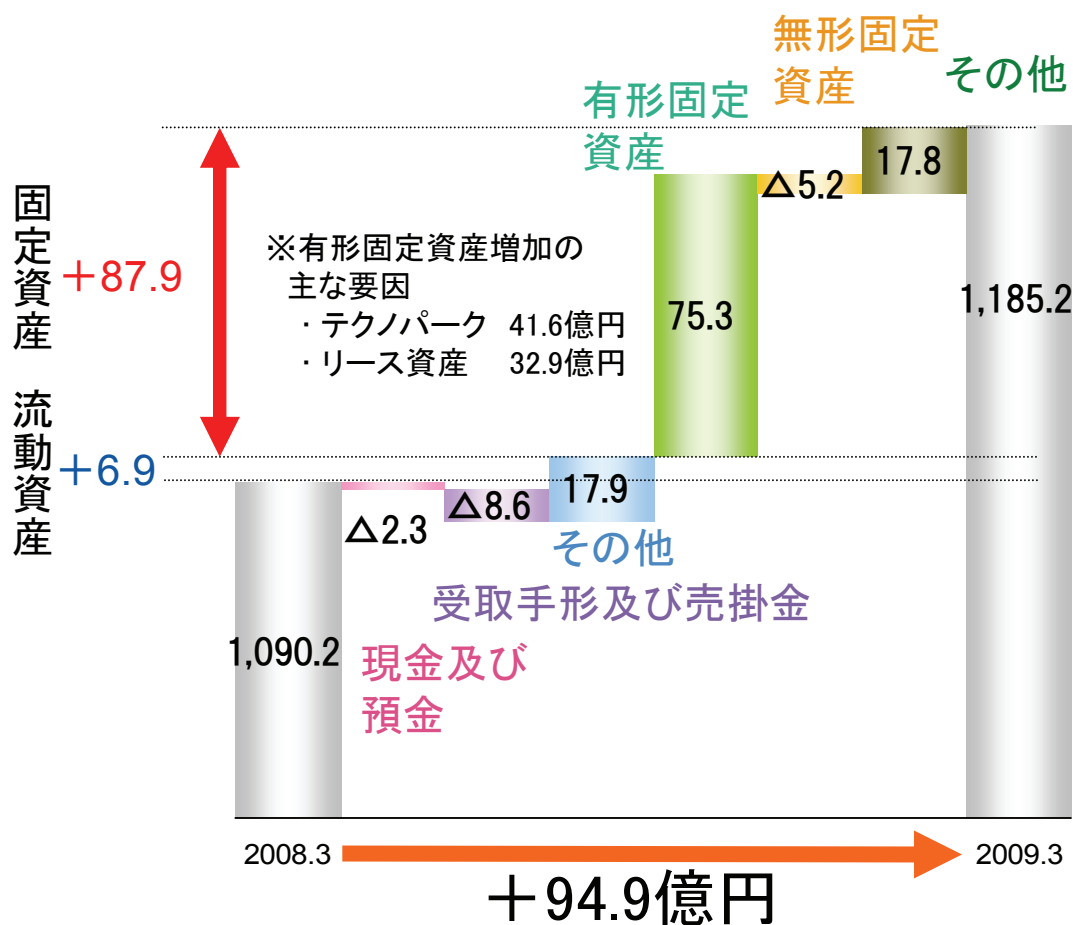
## 営業利益



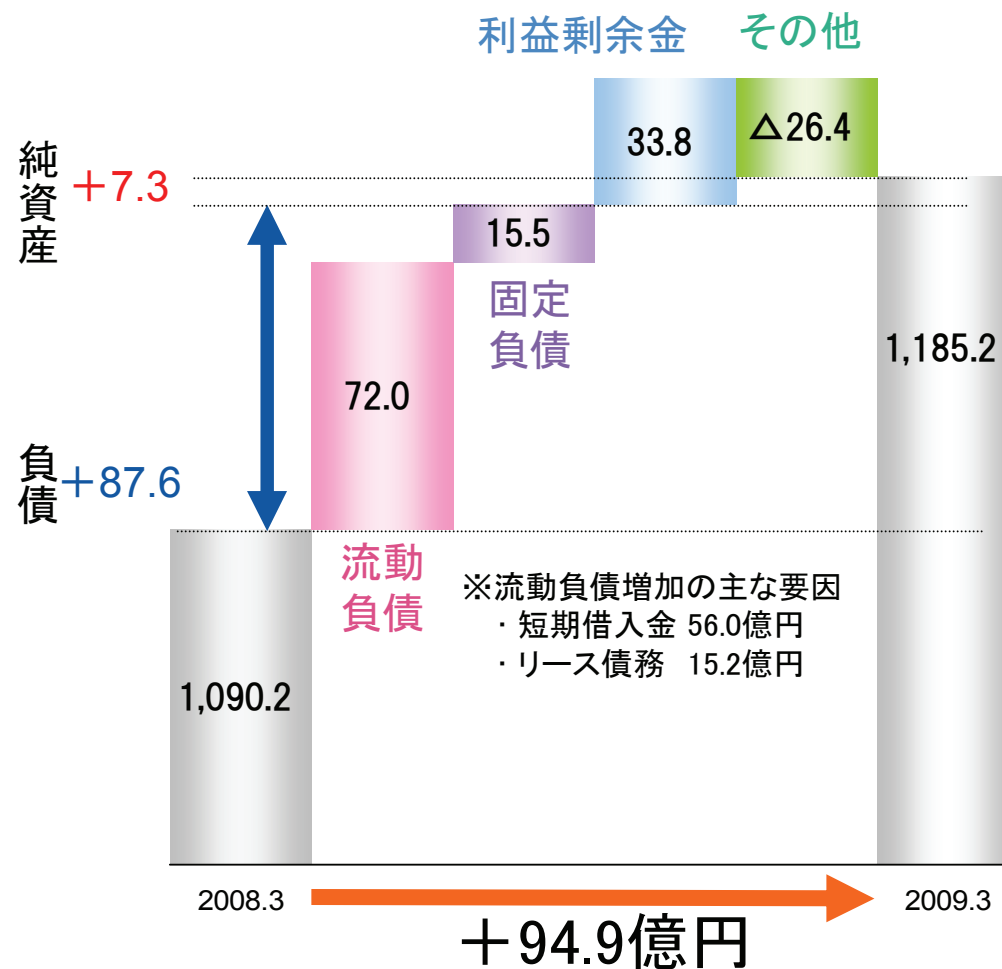
# 貸借対照表の増減要因

(単位: 億円)

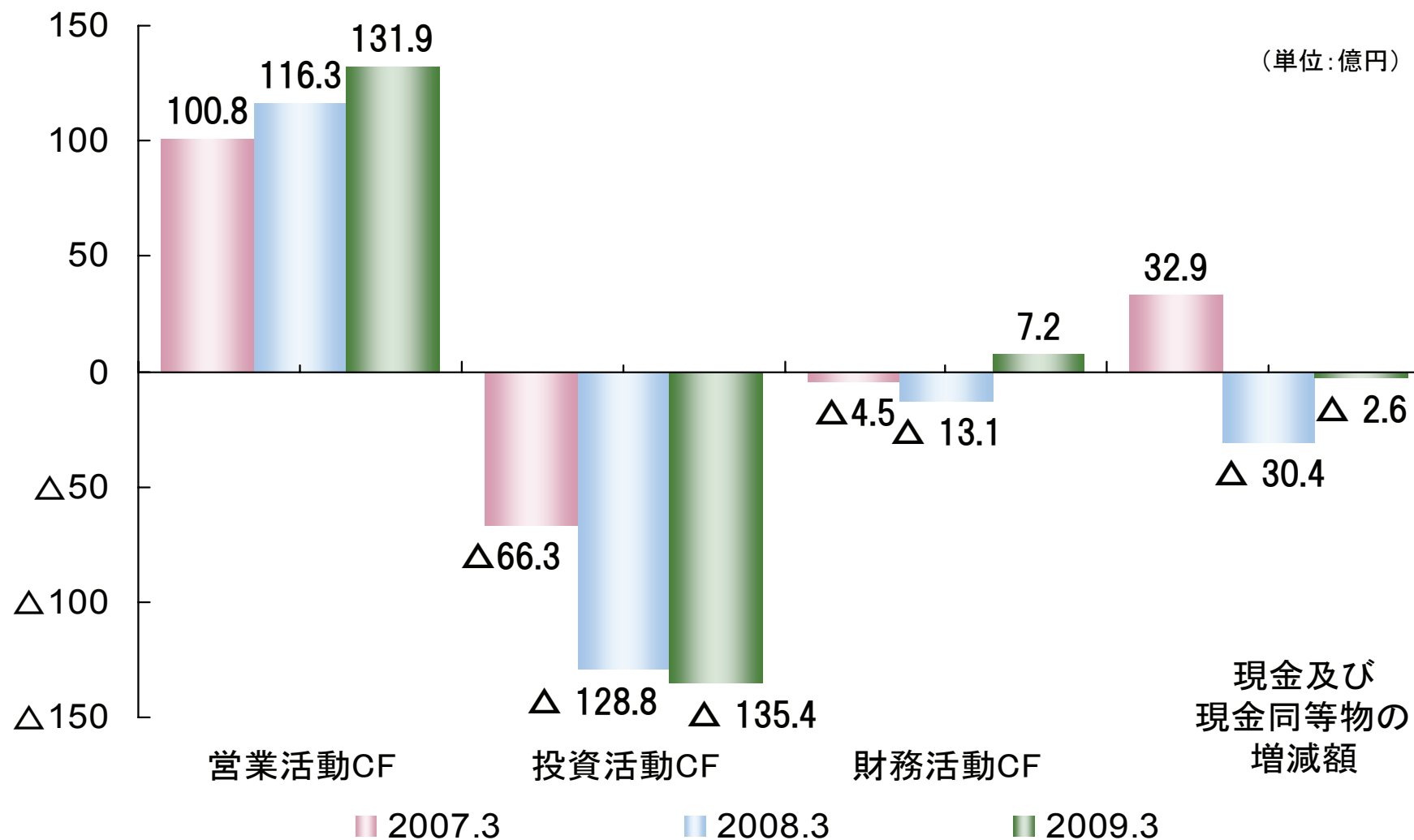
## 資産の部



## 負債・純資産の部



# キャッシュフローの推移



※現金及び現金同等物の増減額には、現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。

## 予想配当額



|                   | 中間   | 期末   | 年間   | 配当性向<br>(連結) |
|-------------------|------|------|------|--------------|
| 2009年3月期<br>(予想)  | 24 円 | 26 円 | 50 円 | 31.9 %       |
| ※ 2円増配リリース(5/11)  |      |      |      |              |
| 7期連続の増配           |      |      |      |              |
| 2008年3月期          | 20 円 | 28 円 | 48 円 | 26.8 %       |
| ※ 創立40周年記念配当 8円含む |      |      |      |              |



# 会計基準の変更

## リース取引に関する会計基準の適用

- リース会社との取引を廃止

- ▶ 欧州売上高 13.3億円減

※営業利益、経常利益、当期純利益  
への影響は軽微

- リース資産／債務をオンバランス

- ▶ 有形固定資産 32.9億円増

## 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

- 総平均法による原価法(実質低価法)で棚卸資産を評価

- ▶ 売上原価 3.1億円増

- ▶ 特別損失 3.4億円

## 米州におけるサービスコストの組み替え

- サービスコストを売上原価から販管費へ組み替え

- ▶ 販管費 29.6億円増

## 海外子会社配当に関する税制改正

- 繰延税金負債の取り崩しによる税金費用減少 4.1 億円

# トピックス

## 新製品

- 乳がんリンパ節転移迅速検査システムの製造販売承認を取得し、国内で初めて保険適用
- 国内初のニワトリ用インフルエンザ迅速診断キット発売
- 中規模病院向け血球分析装置 XT-4000i発売
- 遺伝子組み換え技術を用いた原料による血液凝固検査用試薬を発売(トロンボチェック)
- 免疫検査分野 HISCL-2000i用試薬承認取得

## 関係会社・事業所

- 研究開発拠点の拡充:「テクノパーク」グランドオープン(神戸)
- 中東現地法人(ドバイ)設立
- インド合弁会社を完全子会社化
- ベネルクス三国における現地販売代理店を完全子会社化

## その他

- 創立40周年記念事業
  - ▶ コーポレートブランドロゴを一新
  - ▶ グローバルでの企業価値向上プログラム実施

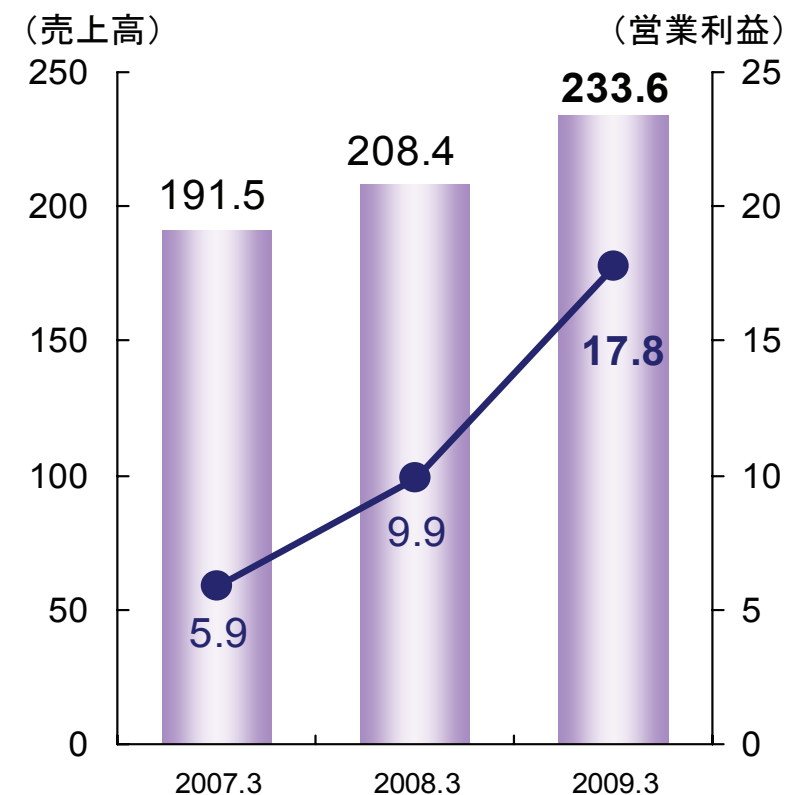
## 米州における取り組み(所在地別)

| (単位: 億円) | 2009年3月期 | 08年3月期 | 前年同期比   |
|----------|----------|--------|---------|
| 売上高      | 233.6    | 208.4  | 112.1 % |
| 営業利益     | 17.8     | 9.9    | 180.5 % |

(単位: 億円)

※現地通貨ベース 前年同期比 売上高127.5%、営業利益 205.2%

- IHN(米国統合ヘルスケアネットワーク)等におけるヘマトロジー機器  
売上の増加と共に、診断薬の売上も増加(Sutter Health等獲得)
- カナダでは直販化によりヘマトロジー分野での売上増加
- 中南米ではヘマトロジー分野での上位機種およびシステム製品  
が好調
- 売上規模拡大と固定費伸長率の低下による収益性の向上



## 欧州における取り組み(所在地別)

| (単位: 億円) | 2009年3月期 | 08年3月期 | 前年同期比   |
|----------|----------|--------|---------|
| 売上高      | 353.8    | 391.7  | 90.3 %  |
| 営業利益     | 51.3     | 46.2   | 111.1 % |

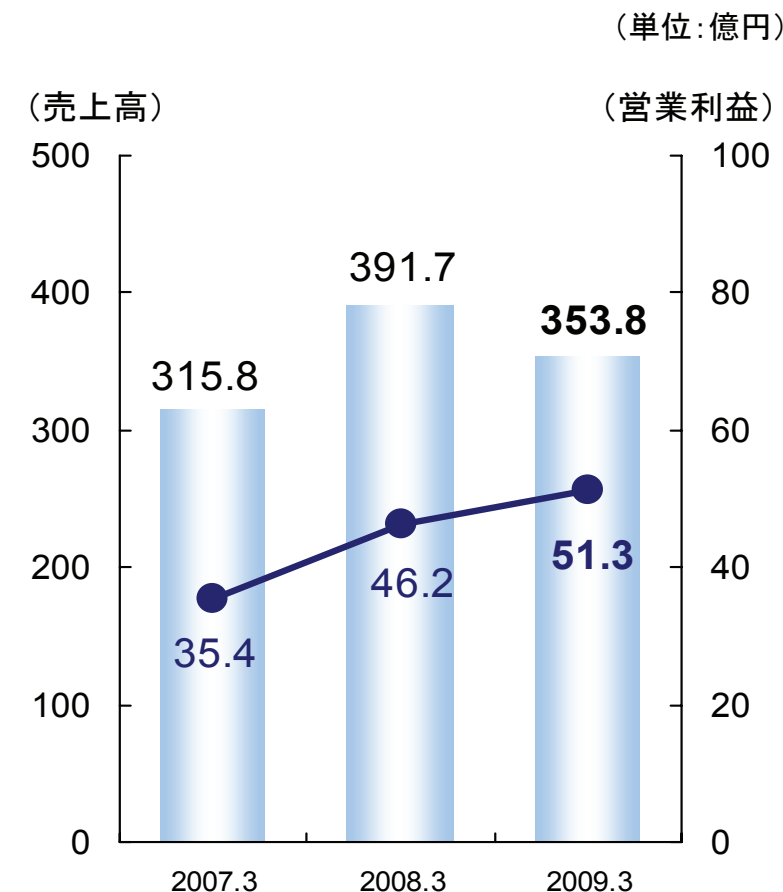
※現地通貨ベース 前年同期比 売上高 101.7%、営業利益 125.1%

### ● 売上に関する前期からのマイナス要因

- ▶ リース会計方針変更 △13.3億円
- ▶ 仕入れ商品の一部中止(採血管) △5.2億円
- ▶ MOLIS(ソフトウェア)譲渡 △8.8億円
- ▶ ポンド安の影響 △12.3億円

### ● フランス・スペインおよび新興国(東欧・ロシア・アフリカ・中東)を中心とした売上増加

### ● 診断薬売上構成比の増加および直販化(フランス等)により営業利益率が改善



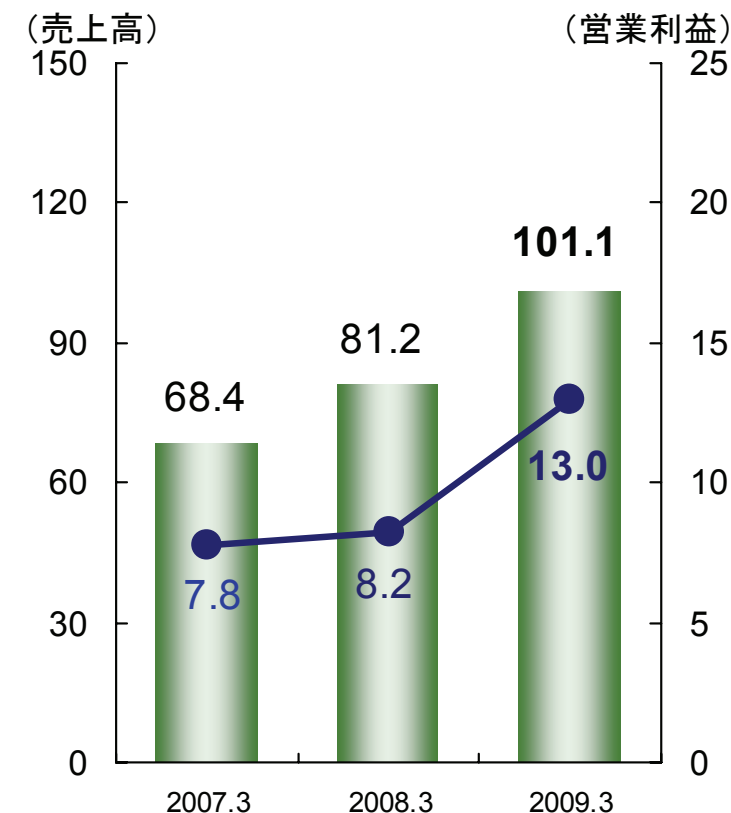
※リース会計方針変更等含む

## 中国における取り組み(所在地別)

(単位: 億円)

|      | 2009年3月期 | 08年3月期 | 前年同期比   |
|------|----------|--------|---------|
| 売上高  | 101.1    | 81.2   | 124.4 % |
| 営業利益 | 13.0     | 8.2    | 158.9 % |

(単位: 億円)



※現地通貨ベース 前年同期比 売上高 130.1%、営業利益 166.1%

- 売上高が初めて100億円突破
- 顧客への直接提案によるヘマトロジー分野での上位機種およびシステム製品の売上増加
  - ▶ 「政府購買輸入管理法」により下位市場では落札率が低下
- 尿、血液凝固検査分野で売上が大幅に増加
  - ▶ 尿検査分野では機器のアップグレードおよびメラミン混入事件により、尿分析装置の導入が堅調に推移
- 売上規模拡大と固定費伸長率の低下による収益性の向上

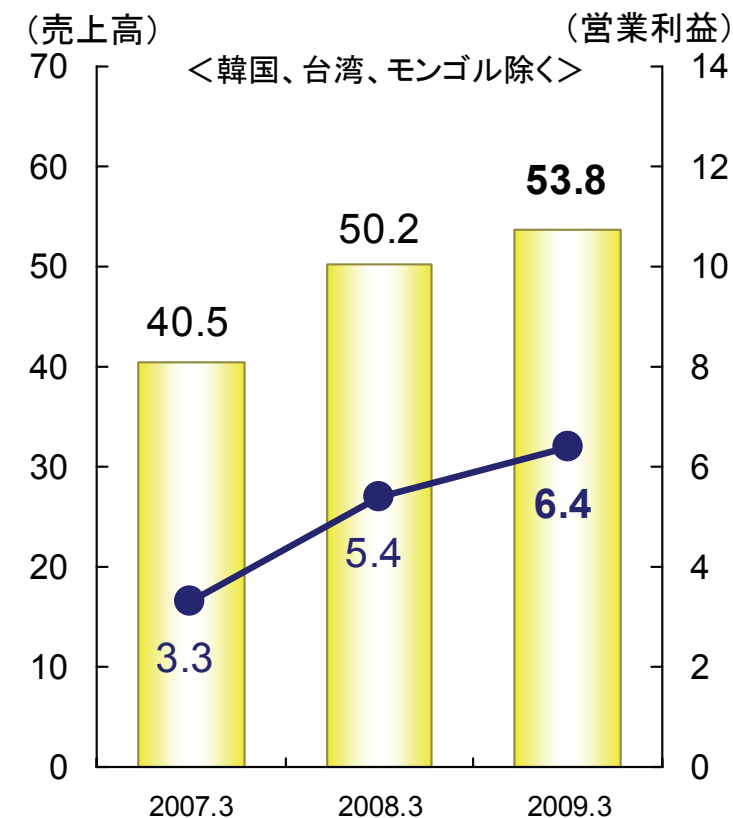
## APにおける取り組み(所在地別)

<韓国、台湾、モンゴル除く>

(単位:億円)

|      | 2009年3月期 | 08年3月期 | 前年同期比   |
|------|----------|--------|---------|
| 売上高  | 53.8     | 50.2   | 107.2 % |
| 営業利益 | 6.4      | 5.4    | 118.2 % |

(単位:億円)



※現地通貨ベース 前年同期比 売上高 118.5%、営業利益 130.6%

- オーストラリアでのヘマトロジー分野のシステム製品が好調
- インドでのヘマトロジー下位市場における販売が大幅に伸長
- 尿沈渣自動化の浸透が進み、尿検査分野での売上が増加
- 売上増加と販管費抑制により営業利益率が改善

# 日本における取り組み(所在地別)

<韓国、台湾、モンゴル含む>

(単位:億円)

| (単位:億円) | 2009年3月期 | 08年3月期 | 前年同期比   |
|---------|----------|--------|---------|
| 売上高     | 690.9    | 668.8  | 103.3 % |
| 外部売上    | 375.8    | 375.5  | 100.1 % |
| 内部売上    | 315.0    | 293.2  | 107.4 % |
| 営業利益    | 46.7     | 78.7   | 59.4 %  |

- 日本市場は依然として厳しい環境が継続
- ソリューション提案により大学病院等での複数の大型案件を獲得
- 海外需要の好調により、関係会社への輸出(内部売上)は増加
- 円高および販管費の一過性の要因により、営業利益は減少

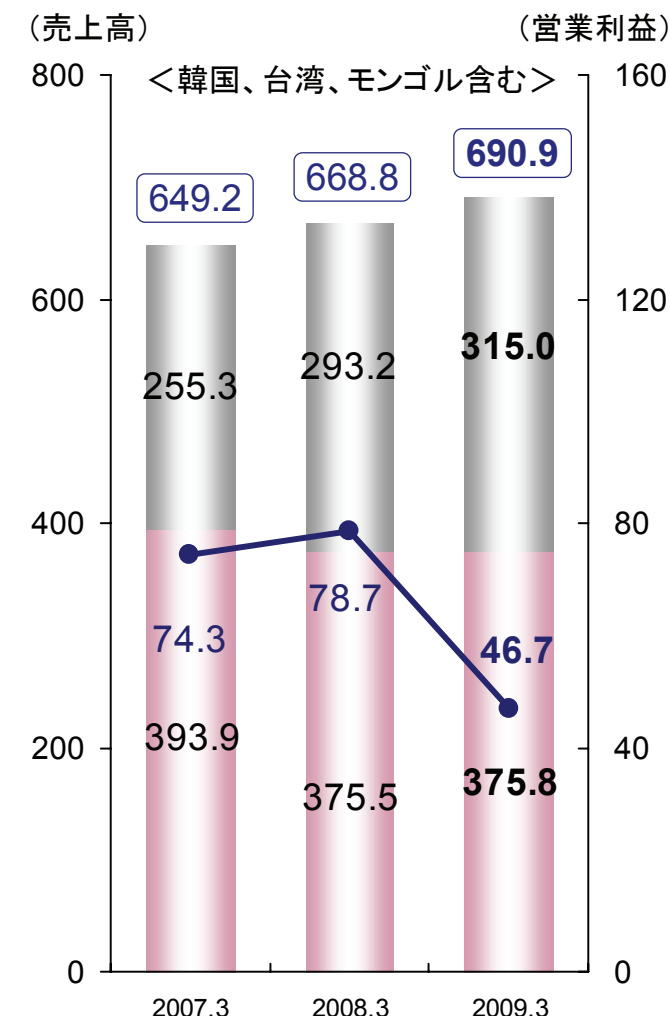
※販管費一過性の要因: 10.3億円

※為替の影響

- ▶ 創立40周年事業 4.6億円
- ▶ テクノパーク整備(償却費を除く) 5.7億円

- ▶ 売上 △34億円
- ▶ 営業利益 △28億円

※韓国・台湾・モンゴル向け売上高 17.6億円



※ □ 内部売上高: 関係会社への輸出を含む  
 □ 外部売上高: 韓国・台湾・モンゴル含む  
 ● 営業利益

Sysmex Corporation

## 中期経営計画(2010年3月期～2012年3月期)

---



## 外部環境

### 為替の急激な変動

- ▶ 主要通貨の円高基調への転換

### 医療費抑制の継続

- ▶ 医療機関での経営効率の追求
- ▶ 医学的価値の高い検査項目の要求

### 業界の再編

- ▶ 検体検査業界での競合他社の再編



### 世界経済低迷の中でヘルスケア産業は堅調

- ▶ 先進国： 高齢化の進展、先進医療へのニーズ拡大
- ▶ 新興国： 人口増加、医療インフラの整備
- ▶ 経済対策としての医療・ヘルスケアへの投資拡大

## 内部環境(2007～2008年度)

### ● 円高の影響を受けつつも海外市場での着実な成長

- ▶ 北米でのヘマトロジー事業基盤の確立
- ▶ 直接販売サービス・直接管理市場の拡大

欧州： 中欧(2007)、フランス(2008)、ベネルクス(2009)、中東(2008)※

米州： カナダ(2008)

アジア： タイ(2007)※、インド(2008)※

※直接管理： 当社現地法人が直接お客様をサポート

### ● 日本市場での伸長低下

- ▶ 免疫検査分野： HISCL-2000i用試薬品揃えの遅れ
- ▶ 生化学検査分野： 製品競争力の低下
- ▶ POC分野： インフルエンザ検査キットの競争激化と販売網変更

### ● ライフサイエンスでの事業化の遅れはあるものの着実に進展

- ▶ 乳がんリンパ節転移迅速検査システム
  - 日本での製造販売承認取得、保険適用
  - 日本、欧州での使用施設数の増加

### ● 創立40周年を機にグループ経営基盤を強化

- ▶ 新企業理念制定(2007)、ブランドロゴ一新(2008)、研究開発拠点の拡充「テクノパーク」(2008)

# 中期経営計画の概要

## 長期ビジョンに基づき更なる成長を目指す

A Unique & Global Healthcare Testing Company

(2007年4月策定)

基本戦略

グローバルニッチ  
No.1

アジア  
フォーカス

ライフサイエンス  
フォーカス

### グループ重点課題と取り組み

1. ヘマトロジー分野における成長の持続
2. ノンヘマトロジー分野※における成長の加速
3. ライフサイエンスの事業化の推進
4. 研究開発の強化
5. 企業体質の強化

### 中期経営目標(2012年3月期)

- 売上高: 1,400億円  
10.3期~12.3期2カ年平均伸長率 約10%
- 営業利益: 185億円  
10.3期~12.3期2カ年平均伸長率 約20%
- 営業利益率: 13.2%
- ROE: 12.0%
- FCF: 84億円

(中計レート: 1US\$=¥95、1EUR=¥125)

### 中期経営計画

2008.3

2009.3

2010.3

2011.3

2012.3

※ノンヘマトロジー分野: 血液凝固検査、免疫検査、尿検査、生化学検査等のヘマトロジー以外の検体検査分野

# 中期経営計画 重点課題と取り組み(1)

## 1. ヘマトロジー分野における成長の持続

### ● 北米でのさらなる市場シェア拡大

- ▶ 米国： 大規模検査センター、IHN(統合ヘルスケアネットワーク)の攻略
- ▶ カナダ： ブランド浸透、直接販売サービスによる販促強化

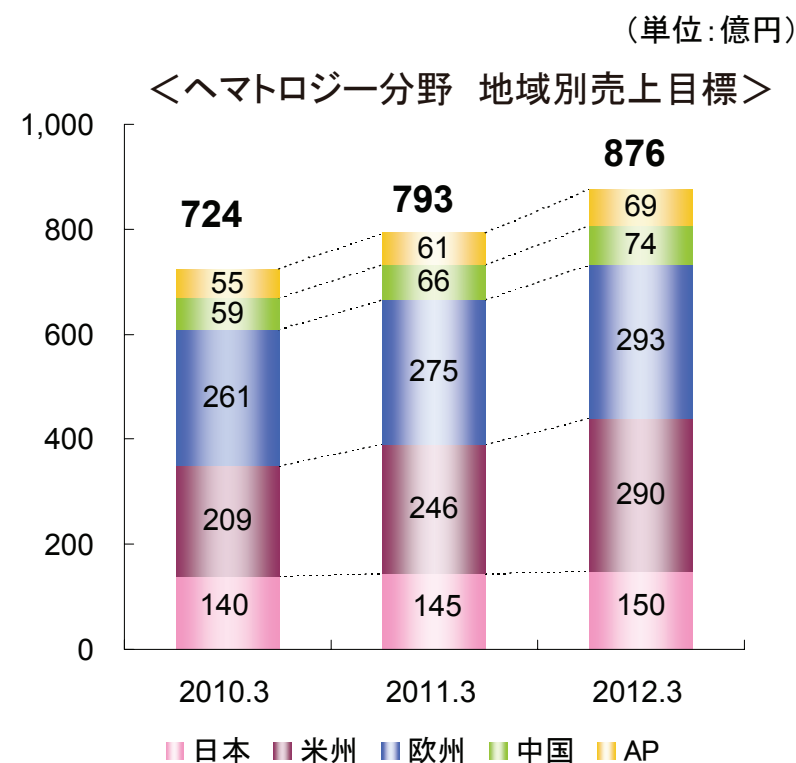
### ● 欧州(先進国)での継続的な成長

- ▶ 直販体制を活用したソリューション提案販売の推進

### ● 新興国での売上拡大

- ▶ 新規機器購入施設への活動推進
- ▶ 機器のアップグレードおよびシステム化の推進
- ▶ SNCS※を活用したサービスサポートの強化
- ▶ 品揃えの拡充とマーケティング強化

※SNCS: Sysmex Network Communication Systems  
オンラインによるカスタマーサポートサービス



# 中期経営計画 重点課題と取り組み(2)

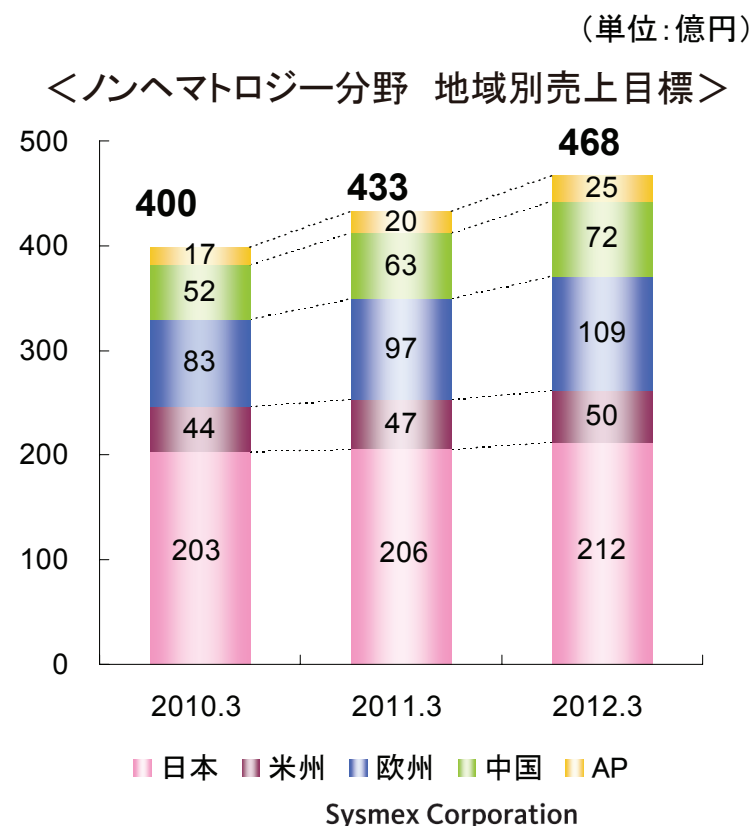
## 2. ノンヘマトロジー分野における成長の加速

### ● 日本を含むアジアでの総合サプライヤーとしての活動強化

- ▶ 中国： 血液凝固、免疫、生化学検査分野での品揃えの充実  
試薬現地生産の推進(生化学分野等)
- ▶ AP： 生化学・免疫検査分野におけるマーケティング強化  
ソリューション提案販売の充実  
ISO認証サポートの推進
- ▶ 日本： 免疫検査分野での試薬項目拡大  
血液凝固検査分野での自社製試薬の品揃え拡充  
生化学・細菌検査分野等での品揃え拡充

### ● 血液凝固・尿検査分野でのグローバル展開

- ▶ 血液凝固検査分野での自社製試薬の品揃え拡充
- ▶ 自社販売およびアライアンスを活用した尿検査分野での事業拡大



## 3. ライフサイエンスの事業化の推進

### ● リンパ節転移迅速検査システムの市場導入推進

- ▶ 乳がん
  - 欧州、日本：導入施設数の拡大
  - 米国、AP：市場導入開始
- ▶ 大腸がん等へのがん種拡大

### ● 子宮頸がんスクリーニング検査の研究開発推進

- ▶ 臨床研究の開始(米国)

### ● 糖尿病関連の研究テーマ推進

- ▶ 微侵襲グルコース測定および病態シミュレーションの臨床研究の推進

### ● マイクロアレイ分野での活動推進

- ▶ アライアンスを活用したマイクロアレイ分野での活動推進(DNAチップ)

## 4. 研究開発の強化

### ● 商品開発のスピードアップ

- ▶ プロダクトフローの改善
- ▶ コラボレーションの強化(共同開発テーマの実用化推進)

### ● 新規技術の獲得

- ▶ “疾患マネジメント”コンセプトの実現
  - 付加価値の高い分析項目の商品化推進
  - ライフサイエンスでの研究開発の推進(がん、生活習慣病)



テクノパーク(神戸)

## 5. 企業体質の強化

### ● グループ全体での環境への取り組み

- ▶ 製品の環境対応の強化
  - 省資源、商品の軽量・小型化
  - 動物由来原料の削減
- ▶ 製造・物流コストの削減

### ● グループ経営管理の強化

- ▶ ERPの再構築
  - 経営情報管理の充実と迅速化
- ▶ リスクマネジメントの強化

### ● グローバル化に対応した人材育成と人事制度の再構築



## 2010年3月期業績予想

---

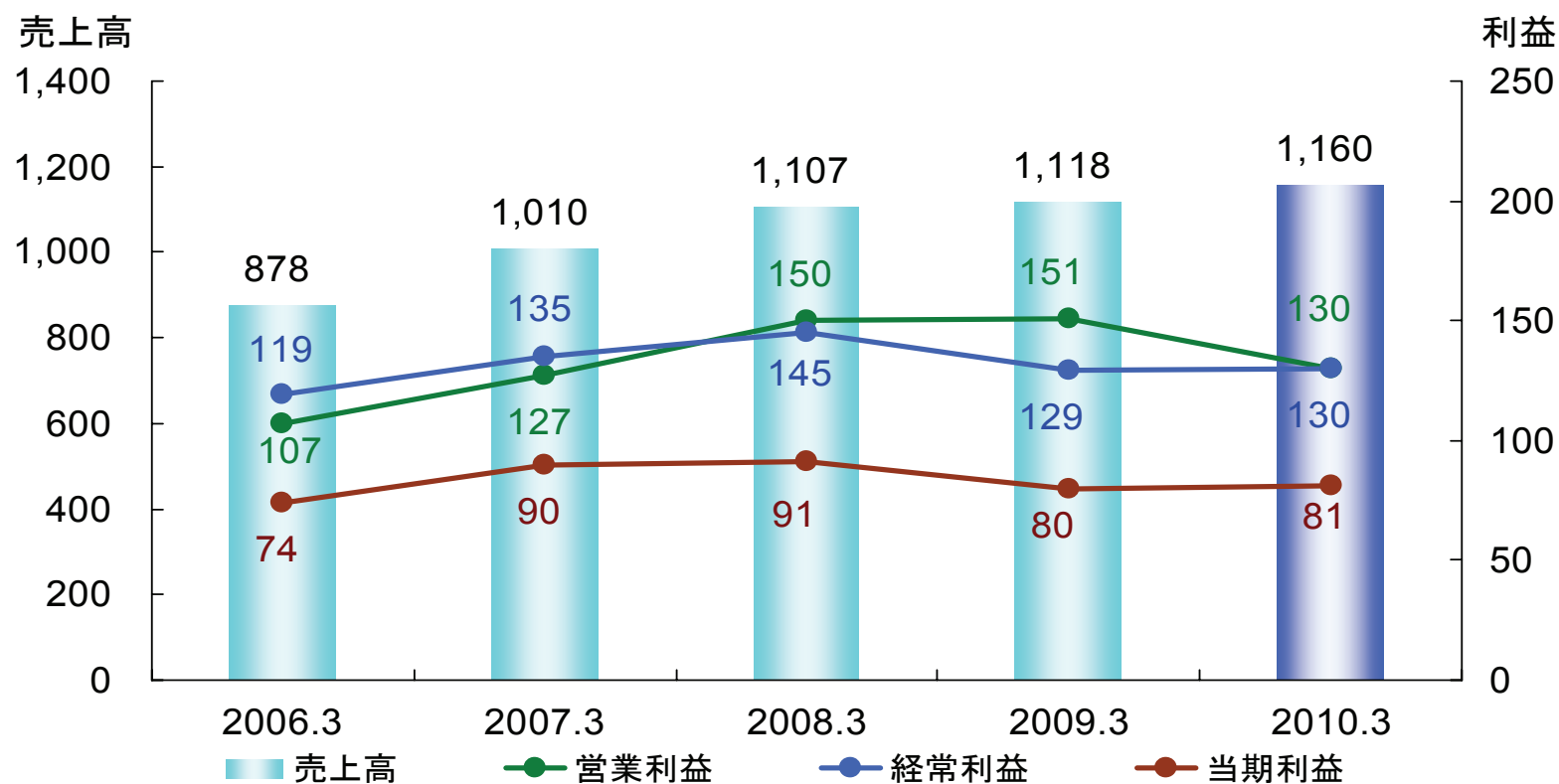
# 連結 通期業績予想

## 2010年3月期 連結業績予想

|                |                 |                 |                |
|----------------|-----------------|-----------------|----------------|
| ● 売上高： 1,160億円 | ● 営業利益： 130 億円  | ● 当期純利益： 81億円   |                |
|                | ● 営業利益率： 11.2 % | ● 当期純利益率： 7.0 % |                |
| 投資計画           | ● 設備投資： 60億円    | ● 減価償却費： 75億円   | ● 研究開発費： 108億円 |

想定為替レート： 1US\$ = ￥95 1EUR = ￥125

(単位:億円)



## 予想配当額

|                  | 中間   | 期末   | 年間   | 配当性向<br>(連結) |
|------------------|------|------|------|--------------|
| 2010年3月期<br>(予想) | 25 円 | 25 円 | 50円  | 31.6 %       |
| 2009年3月期<br>(予想) | 24 円 | 26 円 | 50 円 | 31.9 %       |
| ※ 2円増配リリース(5/11) |      |      |      |              |

## 補足資料

---

# 中期経営目標

## ● 連結損益計算書

(単位:億円)

|       |    | 2010年3月期 | 2011年3月期 |        | 2012年3月期 |        |
|-------|----|----------|----------|--------|----------|--------|
|       |    |          |          | 前年比    |          | 前年比    |
| 売上高   | 日本 | 370      | 380      | 102.7% | 400      | 105.3% |
|       | 海外 | 790      | 890      | 112.7% | 1,000    | 112.4% |
|       |    | 1,160    | 1,270    | 109.5% | 1,400    | 110.2% |
| 営業利益  |    | 130      | 152      | 116.9% | 185      | 121.7% |
| 経常利益  |    | 130      | 152      | 116.9% | 183      | 120.4% |
| 当期純利益 |    | 81       | 95       | 117.3% | 115      | 121.1% |

## ● 所在地別売上高・営業利益

(単位:億円)

|    |       |       | 2010年3月期 | 2011年3月期 |        | 2012年3月期 |        |
|----|-------|-------|----------|----------|--------|----------|--------|
|    |       |       |          |          | 前年比    |          | 前年比    |
| 日本 | 外部売上高 |       | 384      | 398      | 103.6% | 424      | 106.5% |
|    |       | 内部売上高 | 323      | 354      | 109.6% | 396      | 111.9% |
|    | 売上高   |       | 707      | 752      | 106.4% | 820      | 109.0% |
|    | 営業利益  |       | 28.5     | 33       | 115.8% | 41       | 124.2% |
| 米州 | 売上高   |       | 255      | 297      | 116.5% | 345      | 116.2% |
|    | 営業利益  |       | 26       | 36       | 138.5% | 49       | 136.1% |
| 欧州 | 売上高   |       | 351      | 382      | 108.8% | 414      | 108.4% |
|    | 営業利益  |       | 45       | 51       | 113.3% | 56       | 109.8% |
| 中国 | 売上高   |       | 111      | 129      | 116.2% | 146      | 113.2% |
|    | 営業利益  |       | 14.9     | 17.6     | 118.1% | 20.5     | 116.5% |
| AP | 売上高   |       | 59       | 64       | 108.5% | 71       | 110.9% |
|    | 営業利益  |       | 6.5      | 7.5      | 115.4% | 9.0      | 120.0% |

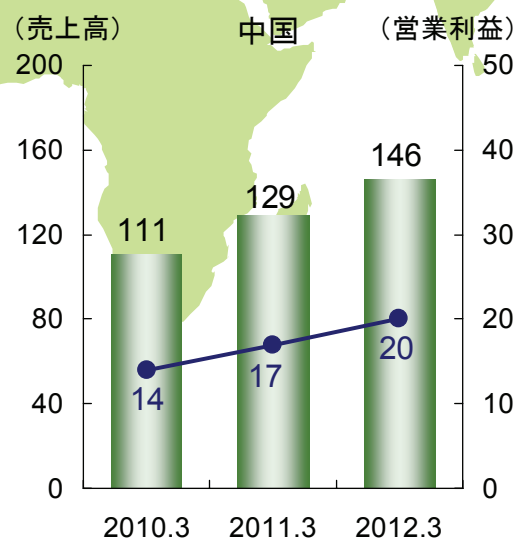
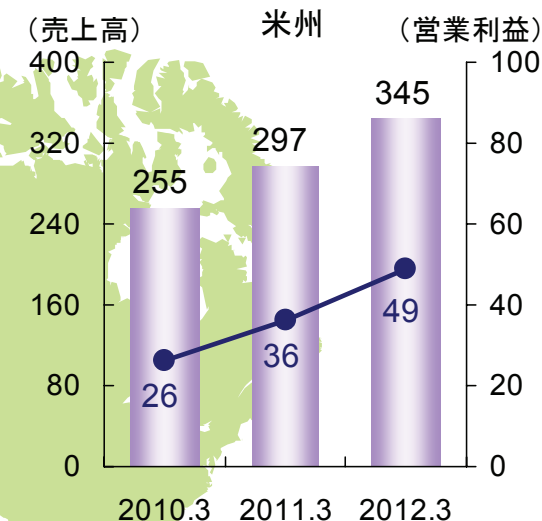
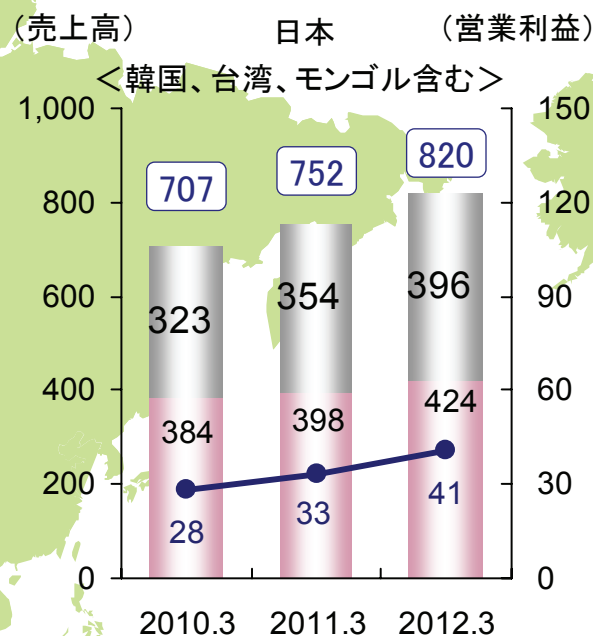
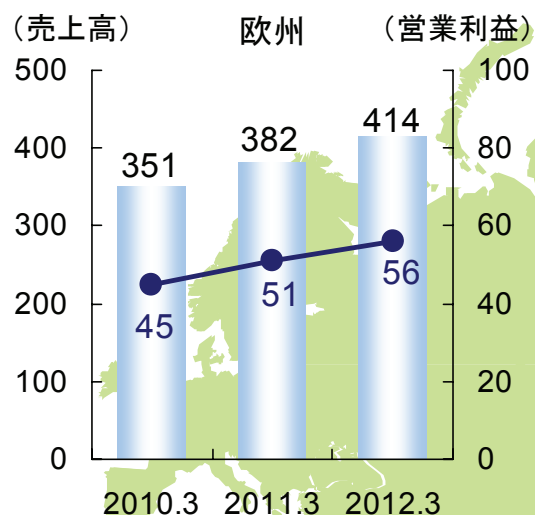
## ● 投資計画

(単位:億円)

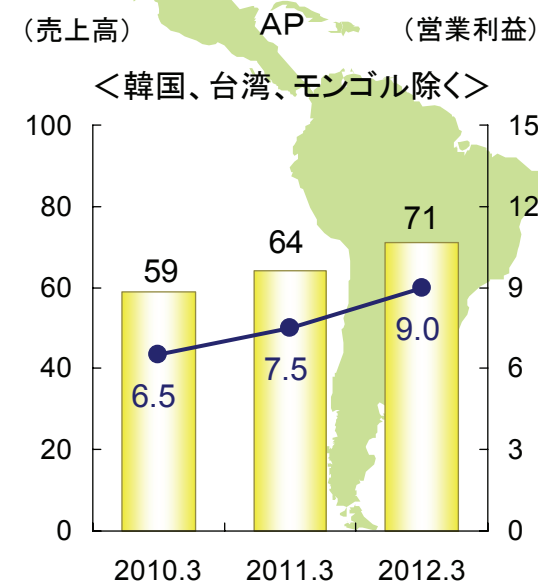
|       | 2010年3月期 | 2011年3月期 | 2012年3月期 |
|-------|----------|----------|----------|
| 設備投資  | 60       | 60       | 65       |
| 減価償却費 | 75       | 75       | 75       |
| 研究開発費 | 108      | 120      | 130      |

# 中期経営目標 ―所在地別売上高・営業利益―

(単位: 億円)



※ □ 内部売上高: 関係会社への輸出を含む  
 □ 外部売上高: 韓国・台湾・モンゴル含む  
 ● 営業利益



# We Believe the Possibilities.

## シスメックス株式会社

＜お問合せ先＞

シスメックス株式会社 IR・広報部

・電話：078-265-0500

・メールアドレス：info@sysmex.co.jp

・URL：[www.sysmex.co.jp](http://www.sysmex.co.jp)